

ヒアリング結果の概要

現地調査を行うと同時に、歴史的景観の重要な要素となる寺社から可能な範囲で意見聴取を行った。それにより得られた意見の概要は以下のとおりである。

1 寺社敷地内からの見え方について

寺社の敷地内から周辺の見え方に配慮しているという意見が多く得られた。建造物だけではなく庭園をはじめとした敷地内の樹木の維持管理に多くの労力・コストがかかっているとのことであった。樹木により周辺の建造物等を見えにくくするような工夫をされているところが多かった。一方で、建造物等を見えにくくするための樹木を整備することで、庭園の借景となっていた山も同時に見えなくなったり、周辺の建造物等が見えてしまうので樹木の適正な剪定がしにくいといった意見もあった。

また、建造物が見えるものの気にならないといった意見もあった。

2 寺社周辺の山林の保全について

山林への眺望を大切する寺社、山林と一体となった景観をかたちづくる寺社からは、開発や整備による周辺の樹林の縮小、管理不足による山林の荒れ等が課題として上げられた。

3 その他

- ・周辺では、歴史的な雰囲気大切にしたい商売や、敷地活用をして欲しい。
- ・観光地化により地元との関わりが希薄化している。
- ・文化財や樹木等を維持管理する技術の継承が必要である。
- ・イノシシ等の動物によりコケ等の植栽が荒らされることもある。